

授業科目名	地域福祉と包括的支援体制	単位数	2単位
担当教員名	平雅夫、神原由佳	担当形態	複数
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
本科目は共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲の助長を担うべきものである。共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の概要			
地域福祉の視点と理論を学び、地域における包括的支援体制構築のため、将来専門職として、地域福祉の担い手として必要となる制度や社会資源などを、社会福祉の実践現場で実践できるようになることを学修の到達目標とする。			
授業計画			
第一回：ガイダンス（地域福祉を学ぶにあたって） 第二回：多様化・複雑化した地域生活課題とニーズ 第三回：地域福祉と社会的孤立 第四回：地域包括ケアシステムと包括的支援体制 第五回：生活困窮者自立支援 第六回：地域福祉ガバナンスと多職種協働 第七回：地域福祉の概念・理論と歴史 第八回：地域福祉の動向 第九回：地域を基盤としたソーシャルワークの方法 第十回：住民の主体形成に向けたアプローチ 第十一回：災害時における総合的かつ包括的な支援体制 第十二回：福祉計画の理解① 第十三回：福祉計画の理解② 第十四回：福祉行財政の理解① 第十五回：福祉行財政の理解②			
定期試験			
スクーリングでの学修			
(1) 対人的な相談援助の構成要素と展開過程を理解する (2) 相談援助を実践するための価値、原理・原則、基本的な姿勢を理解する (3) 相談援助の方法とくに相談面接の技法について学ぶ			
テキスト			
一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟＝編集（2021）『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座6 地域福祉と包括的支援体制』中央法規、978-4-8058-8236-8			
参考書・参考資料等			
必要に応じて適宜紹介する。			
学生に対する評価			
スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			